平成 21 年 10 月 23 日

各　位

会社名　　株式会社 びわこ銀行
代表者名　　取締役頭取　山田　督
コード番号　　8552　大証第一部
問合せ先　　執行役員企画部長　久保　健
(Tel.077-521-1538)

平成 22 年３月期第２四半期累計期間の業績予想修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 14 日に公表いたしました、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想について、下記の通り修正しますので、お知らせします。

１．業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想

①連結業績予想の修正　（単位:百万円）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	14,900	850	680	4 円 87 銭
今回発表予想(B)	15,700	1,500	1,400	10 円 03 銭
増減額 (B-A)	800	650	720	―
増減率 (%)	5.3	76.4	105.8	―
(ご参考)平成 20 年 9 月期	15,902	1,241	873	6 円 25 銭

②単体業績予想の修正　（単位:百万円）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	12,300	700	600	4 円 29 銭
今回発表予想(B)	12,900	1,200	1,300	9 円 31 銭
増減額 (B-A)	600	500	700	―
増減率 (%)	4.8	71.4	116.6	―
(ご参考)平成 20 年 9 月期	13,177	732	741	5 円 30 銭

２．第２四半期累計計算期間業績予想修正の理由

(1)単体

昨秋のリーマン・ショック以降の深刻な世界同時不況を受け、銀行業界は引き続き厳しい経営環境下にあります。そうした中、当行では平成 22 年 3 月期の計画策定に当たり、特に前半はこうした先行き不透明な経営環境を見越した慎重な予想としておりました。

一方、債券相場の上昇を受けて、平成22年3月期第2四半期累計期間において債券売却益を5億円計上することができました。

その結果、経常利益は前回予想比5億円増加の12億円、中間純利益は同7億円増加の13億円となる見込みです。

(2)連結

主に単体業績予想の修正によるものです。

３．通期業績予想について

平成22年3月期の通期の業績見通しにつきましては、現在集計中のため、平成21年11月13日に予定する第2四半期累計期間の決算発表時にお知らせいたします。

（ご参考）平成22年3月期の業績見通し（平成21年5月14日公表分）

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
平成22年3月期業績予想(連結)	30,800	2,800	2,400	4円80銭
平成22年3月期業績予想(単体)	25,600	2,600	2,300	4円08銭

（注）平成21年3月13日に公表いたしました株式会社関西アーバン銀行との合併に係る影響につきましては、上記業績予想には織り込んでおりません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上